

## 外国語科学習指導案

日時：  
学校名：  
展開学級：  
授業者：

- 1 単元名 “My summer Vacation” (Junior Sunshine 6 Lesson 4) —夏休みの思い出を発表しよう。—
- 2 単元目標

相手のことをよく知るために、夏休みの思い出について、行った場所やそこで行ったことなど具体的な情報を聞き取ったり、自分のことをよく知ってもらうために考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。

- 3 単元について

本単元の目標は学習指導要領外国語における（１）聞くこと イ「ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事例について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。」と（４）話すこと [発表] イ「自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。」を受けて設定する。

児童はこれまで、５年生の Junior Sunshine 5で道案内や場所を尋ねたり答えたりする表現や、食べ物や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現、自分の町を紹介する表現などを学習した。６年生の Junior Sunshine 6 Lesson 2 “Welcome to Japan.”では日本の名物や名所など日本のよさについて尋ねたり答えたりする表現を学習しており、相手の考えを聞いたり、自分の考えを発表したりする活動も経験している。これまで身に付けた場所や食べ物、動作、状態や様子を表す語句などを活用しながら、自分が経験したことについて表す表現について身に付けていく。

本単元では、夏休み中にしたことやその感想について紹介し合う。夏休み明けすぐの単元であるため、互いにどんな夏休みを過ごしたかを話題にするのはタイムリーであり、話す必然性がある。夏休みの出来事を話題にして、過去のことについて表す表現について学習する。前半では、指導者や教科書の登場人物による夏休みの話を聞くことを通して、動詞の過去形を用いた表現を知り、児童自身も自身の夏休みを振り返りながら、行った場所や楽しんだこと、感想などを話していく。後半では、夏休みの思い出について伝えたいことを整理し、まとまった内容の発表をする。動詞の過去形が新出であるため、動詞を went、ate、saw、enjoyed、was に絞り、負担なく自分の考えを伝えることができるようにする。また、相手に自分のことをより知ってもらうために、すでに友達に伝えている内容ではなく、まだ友達に話していない内容を選んだり、加えたりすることで、より具体的な情報を詳しく伝えようとする姿につなげていきたい。

本時の言語活動は、これまで慣れ親しんだ語句や表現を用いながら、情報を加えたり順番を変えたりして話す内容を考える時間を確保したり、中間指導の場を設けたりして主体的な活動となるようにし、よりよい発表に向けての自己調整がしやすくなるように授業を展開する。また、単元を通してループリック、Can-Do リスト、振り返りカードを活用することで、児童とめあてやゴールを共有し、自らよりよい発表に向けてどのような工夫をすればよいのかを具体的に見直す機会を作ることで児童の自己調整の力を育んでいきたい。

#### 4 児童の実態

#### 5 研究テーマ・視点について

##### (1) 研究テーマ

学びのつながりを意識した、「伝える力」をのばす指導と評価

##### (2) 視点及び手立て

###### 視点1 自己調整を意識した学習活動の工夫

発表における児童の不安は、自分がゴールに対してどの位置にいるのかが把握できていないことや、児童の頭の中でより良い表現が明確になっていないことが原因と考えられる。そこで、本単元では、Can-Do リストをもとに作成したルーブリックを振り返り時と言語活動の中間指導の時間に確認することで、自分の表現がどれだけ伝わるものになっているのか、把握することができるようにする。また、ルーブリックでの指導を一貫して行うことで、児童自身による表現の修正がルーブリックを確認することでできることに児童に気付かせ、自己調整の力を育てていきたい。

###### 視点2 「伝える力」を伸ばすための指導と評価の工夫

話すことと読むことは意味が異なる。原稿を読む発表では、間違えないように読むことに意識が向いてしまい、相手に伝えるという意識が薄れてしまう。そこで、本単元の言語活動では、自分が伝える内容を思考ツールにまとめ、それを原稿代わりのメモとして活用し、発表していく。発表で何を言えばよいか分からなくなることに不安を感じる児童のためにも、伝えるべき物事や気持ちなどは思考ツールで書きまとめる。思考ツールには単語や日本語など自分が話す内容を文章で書くことはしないことにより、伝えたいことを明確にでき、読む発表ではなく、伝える発表となると考える。また、思考ツール（マンダラチャート）を活用することによって、伝えたいことを明確にしたうえで、それぞれの情報を詳しく具体的にすることを助ける。

また、スモールトーク以外にも動画にて、ルーブリックに沿った A 評価の表現と B 評価の表現を見せることで、中間指導や振り返り時に自己評価をしやすいようにする。さらに中間指導では、A 評価の表現に近い児童の表現を紹介し、ルーブリックを使った評価を具体的に示すことで、よく伝わる発表の理解を深めていく。

#### 6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞 く こ と	〔知識〕 主な言語材料 <sup>※1</sup> について理解している。 〔技能〕 夏休みの思い出について、具体的		

	な情報を聞き取る技能を身に付けている。		
話すこと	〔知識〕 主な言語材料※ <sub>1</sub> について理解している。 〔技能〕 夏休みの思い出について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	夏休みの思い出について自分の考えや気持ちなどがよく相手に伝わるように話そうとしている。

※<sub>1</sub>・・・I went to[ate/saw/enjoyed]～、It was～などの表現及びその関連語句など

## 7 指導と評価の計画（8時間扱い）

時	学習内容	知技	思判表	態度	評価基準（評価方法）
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導者による夏休みの思い出話を聞く。</li> <li>○登場人物が夏休みの思い出について話している動画を視聴する。</li> <li>○建物や遊び、食べ物の語を使って「ポイントティングゲーム」を行う。</li> <li>○Let's Listen 1 で、登場人物が夏休みにしたことを聞き取る。</li> <li>○夏休みに行った場所などを言う。</li> <li>○phonics を確認し、語句の正しい発音を理解する。</li> <li>○振り返りをする。</li> </ul>				記録に残す評価は行わないが、めあてに向けた指導を行い、児童の学習状況を把握する。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○“A sailor went to sea.”を聞いて、歌えるところを歌う。</li> <li>○Small Talk で、好きな夏ならではの食べ物についてペアで話す。</li> <li>○外国の子どもが夏休みについて話す動画を日本の夏休みと比べながら視聴する。</li> <li>○建物や自然などを表す語で「キーワードゲーム」をする。</li> <li>○Let's Listen 2 で、登場人物が行った場所を聞き、内容に合うように○を記入する。</li> <li>○Chant “I went to the beach.”を聞</li> </ul>				記録に残す評価は行わないが、めあてに向けた指導を行い、児童の学習状況を把握する。

	<p>き、言えるところを言う。</p> <p>○ペアで夏休みに行った場所や楽しんだことを言う。</p> <p>○振り返りをする。</p>				
3	<p>○“A sailor went to sea.”を聞いて、手遊びしながら歌えるところを歌う。</p> <p>○食べ物や遊びの語を使って「フェイント・リピート・ゲーム」を行う。</p> <p>○Let's Listen 3で、登場人物の夏休みの思い出を聞き、内容に合うように絵を線で結ぶ。</p> <p>○Chant “I went to the beach.”を聞き、リズムに合わせて言う。</p> <p>○友達の夏休みの過ごし方を知るために、夏休みに食べたものや見たものについてペアと話す。</p> <p>○登場人物の夏休みの思い出について、文を指で追いながら音声を聞いたり読んだりする。</p> <p>○夏休みにしたことを一つ書く。</p> <p>○phonicsを確認し、語句の正しい発音や言い方を理解する。</p> <p>○振り返りをする。</p>	(聞)			<p>○夏休みの思い出について、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 〈行動観察、ワークシート〉</p>
4	<p>○Small Talkで最近食べたものについてペアで話す。</p> <p>○登場人物の話聞いて具体的な情報を聞き取り、聞こえた順番を描く。</p> <p>○絵や写真に合う「気持ちや感想を表す英語」を言う「ぴったりゲーム」を行う。</p> <p>○登場人物が夏休みにしたこととその感想を聞き、教科書にあるイラストから選んで線で結ぶ。</p> <p>○グループで、夏休みに楽しんだことと感想を言う。</p> <p>○振り返りをする。</p>	(聞)			<p>○夏休みの思い出について、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 〈行動観察、ワークシート〉</p>
5	<p>○登場人物の夏休みの思い出に関する情報を聞き取り、イラストと合致するかどうかを判断する。</p>	聞			<p>○夏休みの思い出について、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>

	<p>○ペアやグループで、夏休みにしたことについて、相手に興味をもってもらえるように感想などを加えて話す。</p> <p>○オンライン体験旅行の感想について、文を指で追いながら音声を聞いたり読んだりする。</p> <p>○夏休みにしたこと感想を1つ書く。</p> <p>○Sounds and lettersを確認し、語句の正しい発音を理解する。</p> <p>○振り返りをする。</p>				<p>〈行動観察、ワークシート〉</p> <p>(第3時から「聞く領域の知識」の評価を行うが第5時の評価を最も重視する。)</p>
6	<p>○Small Talk で、週末にしたことについてペアで話す。</p> <p>○登場人物の夏休みの思い出について、文を指で追いながら音声を聞いたり読んだりする。</p> <p>○友達の知らない夏休みの思い出を伝えられるように、グループで発表内容のよさや改善点について話し合い、思考ツールを使って整理したり内容を加えたりする。また、発表資料を作成する。</p> <p>○振り返りをする。</p>	(発)	発		<p>○夏休みの思い出について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p> <p>○自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p> <p>〈行動観察、振り返りシート、グループ内発表動画〉</p>
7 本 時	<p>○Chant Box “I went to the beach.” をリズムに合わせて歌う。</p> <p>○グループで、夏休みの思い出について発表し合う。</p> <p>○振り返りをする。</p>	発	発	発	<p>◎夏休みの思い出について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p> <p>◎自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p> <p>◎夏休みの思い出について自分の考えや気持ちなどがよく相手に伝わるように話そうとしている。</p> <p>〈行動観察、振り返りシート、パフォーマンステスト〉</p>

					ト動画>
8	<p>○前回の発表を振り返り、発表内容から、したこととその感想を1つずつ英語で書く。</p> <p>○偉人たちに関する動画を視聴し、それぞれがどの国に行ったか、何を学んだかを確かめる。</p> <p>○Story Time で写真を頼りに意味を推測しながら読む。</p> <p>○これまでの phonics を確認し、Sound Box で、文字の音に気を付けながら単語を読む。</p> <p>○単元の振り返りを行う。</p>	<p>記録に残す評価は行わないが、めあてに向けた指導を行い、児童の学習状況を把握する。</p>			

8 本単元で扱う語彙・表現

表現 I went to ~.

I [ate/saw/enjoyed] ~.

It was ~.

語句 vacation

動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was)

場所 (sea, beach, mountain, lake, river, amusement park)

動作 (swimming, cooking, shopping, hiking, camping, cycling, fishing)

状態や様子 (fun, great, exciting, delicious, spicy, sweet)

9 本時 (7 / 8) の指導

(1) 本時の目標

○主な言語材料を理解し、それらを用いて夏休みの思い出を発表することができる。【知識及び技能】

○自分のことをよく知ってもらうために、伝える内容を整理したり工夫したりして夏休みの思い出を発表することができる。【思考力、判断力、表現力等】

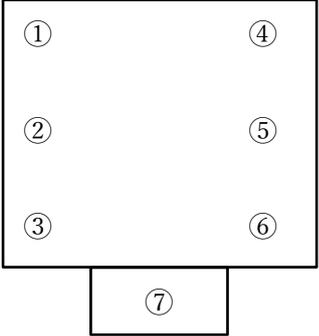
○夏休みの思い出について自分の考えや気持ちなどがよく相手に伝わるように話そうとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開 (7 / 8)

過程	学習活動と内容	教師の指導や支援 (○) と評価 (◇)	教材・教具
導入 7分	<p>1 挨拶をする。気分、天気、曜日を確認する。</p> <p>T : Hello, everyone.</p>	<p>○ジェスチャーをつけながらやり取りすることで、英語を話す緊張感をほぐす。</p>	<p>天気、曜日、日付のカード</p>

	<p>Ss : Hello.  T : How are you?  Ss : I' m ( happy / fine / hungry / sad / sleepy / tired / good ).  Let ' s talk with your friends.  Ss : How are you?  Ss : I' m ( happy / fine / hungry / sad / sleepy / tired / good ).</p> <p>T : What day is it today?  S : It' s ( Monday / Tuesday / Wednesday / Friday ).  T : What' s the date today?  S : It' s (      ).  T : How' s the weather?  S : It' s ( sunny / cloudy / rainy / snowy ).  T : What did you do in summer vacation.  S : I went to the (      ).</p> <p>2 本時のめあてを知る。</p>	<p>○数人の児童に夏休みにしたことをたずねることで、既習表現を確認し、本時の学習につなげる。</p> <p>○目的、場面、状況を踏まえた発表ができるように意識付けを図る。</p>	
<p>展開 25分</p>	<p>みんながまだ知らない自分の夏休みの思い出を発表しよう。</p> <p>3 Chant Box “I went to the beach.” をリズムに合わせて歌う。</p> <p>4 Activity3  ○発表の時に気を付けることを確認し、一回目の発表を行う。  ・自分の気持ちや考え</p>	<p>○一人目の男の子の部分は一緒に歌い、二人目の女の子の部分は、自分の発表内容に合わせて歌うよう声をかける。</p> <p>○中間指導をし、改善を図れるように、クラスを4グループに分けて2回発表を行う。</p> <p>○今回の発表の目的、場面、状況を確認し、Can-Doリスト、ループリックや振り返りシートを参考に、自分の発表のめあてをもつように伝える。</p>	<p>ギガタブ (デジタル教科書)  大型テレビ  絵カード  ループリック  Can-Do リスト  振り返りシート  「クリリアイス」  の掲示物</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の提示の仕方</li> <li>・クリリアイス</li> <li>・ジェスチャー</li> <li>・質問の投げかけ など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動画で見せた A 評価の紹介を思い出させ、発表のめあての参考とするように促す。</li> <li>○クリアボイス、アイコンタクト、リピート、リアクションなどに気を付けて、自分の気持ちや考えを加えて発表することを確認する。</li> <li>○文章を書いた原稿ではなく、ワークシートに書いたメモをもとに発表することで、読むではなく話す発表になるようにする。</li> </ul>	
<p>[発表例]</p> <p>Hello. I'm Taro.</p> <p>This is my summer vacation.</p> <p>I went to the sea in Kanagawa.</p> <p>I enjoyed swimming.</p> <p>Do you like swimming?</p> <p>I like swimming.</p> <p>It was fun.</p> <p>I ate strawberry flavor ice cream.</p> <p>It was cold and delicious.</p> <p>Thank you.</p>	<p>[席]</p>  <p>①～④の児童は 2 回目では次のグループへ移動。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○1 回目の発表を振り返り、めあてに沿っていたか、友達の発表を聞いて取り入れたい表現があったか、確認し、改善を加える。</li> </ul> <p>〈指導ポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話す順番が整理できている</li> <li>・知っている表現を使って詳しく説明している。</li> <li>・質問している</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○改善を加えて、別のグループで 2 回目の発表を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分のことをよく知ってもらうために」という部分に着目し、既習表現を活用しているか、楽しい思いが伝わっているか、ジェスチャーを付けるなど工夫できることはないかななどの改善点を見つけるように助言する。</li> <li>○A 評価に近い表現の児童を紹介し、ループリックをもとに何がよかったかを全体で共有することで、2 回目の発表に向けての自己調整を促す。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○聞き手が違うように 2 回目のグループをつくる。</li> <li>○改善が見られた児童をその場で称賛したり、改善に困る児童に必要な応じて支援したりする。</li> <li>◇友達に自分のことをよくわかってもらえるように夏休みの思い出を発表している。</li> </ul> <p>(知・技、思判表、態度)【発表・行動観察・ワークシート】</p>	

振り返り 5分	5 振り返りシートに振り返りを書く。 ○数名の児童の振り返りを全体で共有する。	○Can-Do リスト、振り返りシート、ループリッックを活用し、自分のことをわかってもらえるように改善できたか、発表を振り返るよう声をかける。 ○本時の目標に照らしながら児童を称賛する。	ループリッック Can-Do リスト 振り返りシート
------------	--	--	----------------------------------

○動画のスキript

A 評価	B 評価
<p>Hello. I'm Taro. This is my Summer vacation. I went to the sea in Kanagawa with my family. I enjoyed swimming. Do you like swimming? I like swimming very much. It was fun. And, I ate strawberry flavor ice cream. It was delicious. Thank you.</p>	<p>Hello. I'm Taro. This is my Summer vacation. I went to the sea. I enjoyed swimming. I ate ice cream. It was delicious. Thank you.</p>

※C 評価は「全く何も言えない」または、「話す英語の順番がばらばら」になっていたときとする。